



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより NO. 24

「オホーツクの森」ボランティア育樹に参加



6月12日(水)ボランティア育樹実行委員会(網走中部森林管理署他8団体で構成)主催によるアカエゾマツの枝打ち作業がオホーツクの森で行われ180名が参加しました。

当会からは15名が参加し、端野小5年生及び常呂小5年生83名の作業指導を担当しました。子供達は普段使用したことのない手ノコに苦戦しながら一生懸命頑張っていました。きっと、森づくりのお手伝いが出来たことに満足したことでしょう。

午後からは遊歩道散策や山菜とりに分かれて自然を楽しんだ一日となりました。



(子ども達への指導の様子)



(散策の様子)

「木のフェスティバル」をお手伝いしました

このイベントは市民にオホーツク圏の木材や、木製品を販売するほか、森林の大切さを理解してもらうことを目的に毎年開催されており、今年はおホーツク木のプラザにて5月17日（金）～19日（日）に行われました。

当会は常呂川森林ふれあい推進センターが出展したコーナーのお手伝いとして、種子飛ばしゲームや竹トンボ、バードコール、モックン、鉛筆づくりなど自然の素材を使った工作づくりを市民に体験してもらい森林や樹木への関心を広めるきっかけづくりや、パネルによるボランティア活動の紹介をしました。

なお、当日は多くの会員にご協力頂きとても楽しく活動することができました。

一方、日本赤十字北海道看護大学の村林先生始め、延べ5名の大学生や先生の子供さん2名など若い方の応援を頂き、当会場で最も多くの方が訪れるコーナーとなり大盛況でした。

改めてご協力頂いた皆様にお礼申し上げます。 事務局長 吉田

参加者名：鞆師、角、吉田（昭）、吉田（正）、長谷川、轡田、村林



（看護大生のお手伝い）



（竹とんぼ作りはいつも盛況）



（バードコール作り）



（手作りえんぴつでお絵かき）

トドマツ植栽木の根踏みと 森林散策を行いました

5月26日（日）昨年秋に植栽したトドマツの造林地で積雪の影響を受け根元が浮き上がったり、傾いたものを元の状態になおす作業を行いました。参加者は会員7名と日本赤十字看護大学生2名でさわやかな汗をかきながらの作業でした。

正しい姿に補正された植栽木は今後順調に成長することでしょう。

一方、森の家近くの散策路では、倒れた木を処理するため3名が作業を行いました。思っていたよりも苦戦され大変ご苦労様でした。

午後からは、倒木処理された散策路で遊ぶエゾリスの姿や珍しい“ガ”（イボタガ）の羽化の状況などの観察を楽しみました。

なお看護大学生には慣れない作業ありがとうございました。若い方が森づくりに関わっていただくことで自然を理解していただくきっかけになればと期待しています。今後も参加よろしく願います。

参加者名：角、金村、奥澤、村林、杉田、小原、小島、吉田（昭）、吉田（正）、植村、看護大生2名



（遊歩道の倒木を処理している様子）



（シマリスを見て癒やされます）

（参加者より）

森林ボランティアに参加して

日本赤十字北海道看護大学 1年 塚本 恵子

私は今回初めて植林ボランティアに参加させて頂き、様々な方々から色々な事を学んできました。植林を行ってから根がしっかりはるまで、多くの人たちに守られて木は育っていくこと。その木の周りには、沢山の植物が育ち、その中で森が作られていくこと。立派な森林になるまでには気の遠くなるような時間が必要であり、沢山の人の手によって大切に育てられていること。

その過程に自分が参加できた事が、とても嬉しかったです。山の上から順々にトドマツの根を踏み固める作業では、昨年植えられた木が雪によってどのようになっていくのか、植えられた位置や植え方によって様々な変化があることが解りました。また、木の伐採のお手伝いでは鉈の使い方を教わったり、年輪の話やトドマツの話、松脂、様々な植物の名前や木の実の話など、日常では得られない色々な事を教わり、大変貴重な経験が出来ました。

今回、沢山のボランティアの方々に助けて頂き大変感謝しています。これからまた、このような機会にはぜひ参加させて頂き、少しでもお役にたてればと思っています。ありがとうございました。

看護大授業を初めてサポートしました

6月7日（金）に、日本赤十字北海道看護大学1年生の「フィールドワーク」という授業において、常呂川森林ふれあい推進センターのサポートとして、野付牛公園をフィールドに、95名の生徒をガイドとして案内しました。

参加者名：吉田（昭）、栄、植村、吉田（正）、小島、鞆師（和）



(学生より)

フィールドワークを受講して

日本赤十字北海道看護大学 1年 西村 渉

今回私は、総合科目Ⅰの授業として野付牛公園でのフィールドワークに参加してきました。正直、総合科目Ⅰをとった理由は知床でのフィールドワークがあるということにあり、野付牛公園での見学にはあまり興味がありませんでした。しかし、公園に着き辺りを見渡した時、私は自然の壮大さに驚きを隠せませんでした。

公園内では、グループに分かれインストラクターの方の説明の元、中をまわりました。日々の生活では注意してみることもないような木々や草などを見たり、木の年輪やサルノコシカケを発見するなど、私にとって初めてのことばかりでした。

看護師になるうえで、注意深く観察するということはとても大事なことだと思います。しかし、日常において意識してすることはほとんどありません。だから、そのような体験を自然を通して学べたということはとても意味のあるものでした。機会があればまた参加させていただきたいです。

古の森散策路の草刈り・森の家広場の草刈り

7月7日(日)午前中は古の森散策路の草刈を行いました。現地の状況は散策路の位置が分からなくなるほど草丈が伸びており、もっと早い時期に草刈する必要があったと思いました。

午後からは森の家広場と平安遊歩道の草刈を行い、きれいになった状況にやりがいを感じた活動でした。

参加者名：小島、栄、吉田(昭)、吉田(正)、小原



オホーツクの森・こども探検隊

7月28日（日）オホーツクの森で“ふれセン”との共催で実施しました。小学生20名が参加し、森の中を子供だけのグループを作り、助け合いながらの探検を楽しみました。

探検では子供たちが安全に探検できるように“ふれセン”とオホーツクの会（7名）から「森の番人」等を配置し見守りました。

探検終了後は樹木を利用して作ったターザンロープ、ブランコ遊び、森の家では木の枝を利用した写真立てづくりや葉っぱアートなどが行われ夏休みの宿題としても活用されたことでしょう。

普段テレビゲームなどで遊ぶことが多い子供たちにとっては自然を学ぶきっかけとなりその魅力を体感することができたと思います。

ご協力頂いた会員の皆様大変ご苦労様でした。

参加者名：吉田(昭)、栄、金村、小島、角、佐々木(昌三)、吉田(正)



お知らせ

事務局が建物の中で移動しました。移転にともない
FAX番号が下記に変更になりました。

下記の行事の参加希望者は応募締切まで電話もしくはFAXにて氏名及び電話番号を事務局へ申し込み下さい。

○オホーツクの森づくり

実施日：9月14日（土） 8時30分～16時
集合時間：8時30分 常呂川森林ふれあい推進センター前
実施内容：パオパオシートの修理及び草取り、森林散策
募集締切：9月6日（金）

○第2回 森林づくり塾

実施日：9月28日（土） 9時30分～15時30分
常呂川森林ふれあい推進センター主催です。
募集締切：9月20日（金）

○森林散策会

実施日：10月6日（日） 8時30分～16時
集合時間：8時30分 常呂川森林ふれあい推進センター前
散策場所：展望台を含むオンネトー一周
募集締切：9月25日（水）

○パネル展示

実施日：10月4日（金）～13日（日）
場 所：北見市緑のセンター
展示物を募集します。また、準備等のお手伝いもお願いします。

○オホーツクの森林ボランティア報告会（仮称）

実施日：12月上旬
常呂川森林ふれあい推進センター主催で計画しています。

お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

平日8:30～12:00
13:00～17:15

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144